



東っ子だより

— 学校教育目標 —
せいっぱい きたえ
のびよう 東っ子
自分を出し切り
笑顔いっぱいの学校に

令和7年8月29日 NO.6

自分を出し切り「輝く」2学期に！

学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。

この夏休み、大きなけがや病気の報告もなく、68名全員、健康に過ごせたことが何よりでした。

夏休みの前半に行ったプール解放では、多くの子どもたちが参加していました。プールで泳ぐことを楽しみにしていた子もいたと聞いています。子どもたちの笑顔と明るい声がいっぱいでした。

豪雨、猛暑。毎日のニュースでは、最高気温の更新、熊による被害とこの異常気象による話題ばかりです。特にこの夏は、九州地方や東北地方において、線状降水帯の影響により、短時間で河川の水位が急上昇。大規模な浸水・冠水被害が発生しています。この東白川村でも7月の豪雨の影響により、県道・村道・農業用水路等の被害が出ています。今後も、台風や線状降水帯も心配されます。まだまだ暑い日も続きます。普段から、防災への備えや熱中症対策を心がけていきたいです。よろしくお願いします。



熱戦となる夏の甲子園。今年も、全国高校野球選手権大会が行われました。岐阜県代表の県立岐阜商業高校が準決勝まで勝ち進みました。4強入りは16年ぶり8度目となります。準決勝は応援に力が入る試合となりましたが、特に、準々決勝の横浜高校との戦いは、手に汗を握る熱い試合となりました。タイブレーク形式の延長11回の末、春夏連覇を狙う強豪・横浜高校にサヨナラ勝ち。今大会、公立唯一の4強を果たした”県立の星“となりました。

そんな選手たちの試合後のインタビューで聞かれた言葉が「みんなで頑張った」ので、悔いはない」「楽しかった」でした。チームが一つになって勝つことを考え取り組んだ結果だと感じます。

坂口選手は、「自分たちがやり切れたことをこれからの人生にいかしたい。」
横山選手は、「打てなかったけど、ここに立てて、やってきてよかったなと。
悔いはない。」

と試合後に語っています。日々の努力が力となり、「自分を出し切る」ことができたからこそ、チームの成長や自己の成長を実感できたのだと思います。

東白川小学校の子どもたちも、夏休み中にどこかで自分を出し切る姿が創り出せたのではないのでしょうか。

2学期は、これまでの子どもたちの頑張りが、質的に「伸びる」「輝く」時期です。運動会、学年ごとの社会見学、6年生の修学旅行などの行事はもちろん、日々の学習や当番・委員会活動など、輝く場はいろいろなところにあります。一人一人の変化を見逃すことなく、「自分を出し切る」姿を認め、励ましていきたいと思います。

学期の「節目」、各行事等の「節目」をどう生かすか。「節目」は「チャンス」です。竹のようにぐんぐん伸び、輝く2学期にするため、学校と家庭、地域がつながって子どもたちを見て、価値づけ、ほめていきたいと思います。

ぜひ、2学期も子どもたちへの声掛けをよろしくお願いいたします。

校長 渡邊 克年